平成２８年５月３０日

高花学校給食センター

対象学校の保護者　様

印西市教育委員会教育長

赤ダニ発生による給食停止から現在までの復旧に向けての対応についての

詳細説明についてのお知らせ

関係小学校の児童ならびに保護者の皆様には、6月1日の給食再開が果たせず、長期間にわたる弁当持参をお願いすることとなり、誠に申し訳ありません。この間、多大なご負担をおかけしておりますことに、心よりお詫び申し上げます。

さて、保護者の皆様から様々なお問い合わせをいただきましたが、主なご質問につきましてご説明いたします。

○代替食の用意ができないか。

　４０００食の弁当を短期間の契約等で引き受けられる業者が今のところございません。複数の業者に依頼するとなれば、アレルギー対応等心配な面が多くございます。また、給食センターは予算面でも1食267円を保護者の皆様から頂いて運営しており、予算範囲内で行わなければならず厳しいものがあります。

○市の他の給食センターからの提供はできないか

　現在の他の、４センターにつきましては、中学校対応の牧の原（セ）が、調理能力2,300のところ2,476食を提供中。次に大きい印旛（セ）が調理能力2,000に対しまして1,896食を提供中。滝野（セ）が調理能力1,000食のところ705食提供、本埜（セ）が調理能力500のところ、218食を提供中であり、調理能力の余裕は約700食ございます。しかしながら、食器、食缶、コンテナ等の余裕がなく、また、食器洗浄後の消毒保管庫も余裕がないため、対応することができません。

○他の市町村に依頼できないか

　衛生管理基準によりますと、出来上がりから喫食まで2時間以内という規定があります。衛生管理基準を守れないと予想される業務を、他市町村に依頼するのは厳しいものがあります。（2時間を守れず食中毒の危険性が高まります。）

○一定期間他の給食センターの分を高花の配食校にまわせないか

　配食の大きな変更は、委託業者との契約変更等が必要となり、迅速な対応ができません。

○持参する弁当の食中毒が心配だ。

冷房した教室等に保管するなど、各学校に適切な対応を指示しております。

○今回の件について関係機関からどのような指導を受けたのか

　印旛健康福祉センター（印旛保健所）から、市環境保全課の指導に従うように。

市環境保全課から、汚染原因を調査のうえ、必要な改善措置をとるように。（問題を解決できないと水道使用の許可は出せない。）

○この件の報告等についてはどこにしたのか

　千葉県教育委員会に報告を、マスコミ各社、市ホームページを通して市民の皆様に発表しました。また、市議会に説明をいたしました。

○説明会はやらないのか

　まずは事態の収拾に努め、一日も早い給食再開を目指しております。ご意見を受けて、ここに詳しい経緯と対応をお知らせいたします。

○経緯と対応についてもっと詳しく説明してほしい

　高花学校給食センターの水道について

『高花学校給食センターでは、毎日何十トンもの大量の水を使用しますので、水をためておくタンク（受水槽）が敷地内に設置されております。この受水槽から一度屋上のタンク（高架水槽）に送られます。屋上のタンク（高架水槽）から高さを利用し水圧が下がらないよう、各蛇口に水を送る仕組みになっております。』

発生日時は、年５月９日（月）１８時頃。調理場内の水道蛇口に取り付けたガーゼに赤ダニが付着しているのを職員が発見、受水槽の清掃担当会社（京葉ビルサービス）に連絡し、受水槽を点検したところ、受水槽通気口に赤ダニを発見しました。当初、給食のできるだけ早い再開を念頭に11日から17日までの1週間の停止期間で、侵入が発見された、受水槽と受水槽から水か送られている屋上高架水槽のタンク内清掃と消毒、侵入経路の防止措置を行いましたが、赤ダニの検出は止まらず、再度5月31日までの再停止をお知らせしました。

　受水槽清掃会社担当者（京葉ビルサービス）や受水槽メーカー（積水アクアシステム）との相談の中で

侵入防止措置の強化、受水槽及び高架水槽内の赤ダニの除去、給食センター敷地内の赤ダニの駆除、水道管内の赤ダニの除去の4点を中心として対応を実施してまいりました。

侵入防止措置　受水槽・高架水槽通気口の防虫網にステンレスメッシュの網目の細かいものをかぶせ、網の強化措置

　　　　　　　円柱状の通気口のタンク（受水槽・高架水槽）との根元の接続部分のコーキング処理

　　　　　　　受水槽・高架水槽外壁のパネル接続部分の隙間がないよう、目地のコーキング処理

　　　　　　　オーバーフロー管排出口の網には上から布をかぶせ網の強化措置

　　　　　　　受水槽・高架水槽の台座、天井部、側面等の外壁の消毒

　　　　　　　受水槽・高架水槽内側からのコーキング及び揚水管等附属部分のコーキング処理

　　　　　　　高架水槽のパッキン交換

受水槽・高架水槽内の赤ダニ除去措置

　　　　　　　内部高圧洗浄及び次亜塩素酸ナトリウム「ジアノック」による消毒（数回実施）

　　　　　　 貯水、排水作業による赤ダニの排出（数回実施）

給食センター敷地内の赤ダニの駆除

　　　　　　 消毒業者（イカリ消毒）による施設内外の消毒の実施

　　　　　　 施設内の草刈り、側溝の清掃、屋上や建物外壁、コンクリートに付着しているコケ類の除去作業

　　　　　　 建物とその周辺の消毒（雨の日以外実施、アルコールや中性洗剤を100倍に薄めたもの噴霧）

水道管内の赤ダニ除去

　　　　　　 施設内のすべての蛇口から排水を継続。特に、調理場内の調理用蛇口（水、湯）にガーゼを設置し、数時間ごとにガーゼを取り替えて検出数をチェック。

※この間、不具合を起こしたボイラーにつきましては、ボイラー業者（サーモエナー）により不具合は解消されております。

蛇口からの検出確認作業につきましては、赤ダニ駆除工程の最後の確認作業として、実施しておりましたが、検出はほぼ毎日続き、6月1日の給食再開が実施できなくなり、給食停止の延長措置を行いました。

○今後の対応について

今後の対応につきましては、業者による受水槽・高架水槽内の再点検を行い、侵入防止策の再点検、強化及び新たな防止策の実施、敷地内赤ダニ駆除の継続、水道管内の赤ダニ駆除の継続、新たな侵入箇所についての調査等を行っていきます。

受水槽及び高架水槽内の赤ダニの侵入の確認

・貯水、排水作業による赤ダニの侵入有無の確認。

※受水槽及び高架水槽内に赤ダニの侵入が確認された場合。

・必要に応じて内部高圧洗浄を実施。

侵入防止対策の再点検と強化

・受水槽と高架水槽の侵入防止措置について、再度、防虫網やコーキングの点検を一つ一つ確認する。

・見落としている箇所がないか確認する。

・受水槽清掃会社担当者や受水槽メーカー等の専門業者と相談をして、有効な手立ての検討、実施。

給食センター敷地内の赤ダニの駆除

　・雨の日以外、これまで通り赤ダニの駆除を継続する。

水道管内の赤ダニ除去

　・施設内のすべての蛇口から排水を継続。特に、調理場内の調理用蛇口（水、湯）にガーゼを設置し、数時間ごとにガーゼを取り替えて検出数をチェックする。

※受水槽及び高架水槽内に赤ダニの侵入が確認されなかった場合

・管内に存在していたものが、少しずつ出てきていると考えられるため、引き続き検出数がゼロになるまで

　蛇口から水を出し続けていく。

・水道管の高圧洗浄。（老朽化している水道管の破損も考えられるので、検討中。）

○その他

本日付別文書で「部分給食の提供についてのお知らせ」を配布しております。

この件につきましての問い合わせ担当は、印西市教育委員会指導課になりますのでよろしくお願いいたします。　（ＴＥＬ４２－５１１１）